

特別支援教室だより

令和5年 11月 吉日
巡回拠点大杉東小学校
特別支援教室通信
令和5年度 No.7

【 今回のテーマ 】



昨日できたことが、今日できない子

例：昨日の宿題は丁寧な字で書いたのに、今日は雑に書いている。



【 こんなことが考えられます 】

「できる子・やれる子」でも、いつでもどこでも「できる・やれる」とは限らない

- 天候や活動場所の環境（視覚刺激・聴覚刺激・嗅覚刺激、または机上の状態等）、時間帯、一緒にいた人やその人数、その時の気持ち（情緒）や体調、課題の内容や量、課題を行う目的、終わった後のご褒美の有無や内容など、様々な要因が昨日と少し違うだけで100パーセントの力を発揮できない。
- 「できた時」は、150パーセントの力を発揮した結果であった。
- プレッシャーに弱い子の場合、昨日できたからこそ「今日は失敗するかも…」と不安になってしまう。
- 頑張ればできるけれど、頑張るのはもの凄く疲れてしまう。

【 できることはなんでしょう 】

子供を理解してあげることが大切

- 「昨日はできたでしょ！」と叱るよりも、上記のような要因があるかもしれないと意識し、「今日は難しいのかもしれないな。」と思ってあげると、見守る大人も冷静になれます。できた時と同じような環境を整えてあげると力を発揮できるかもしれません。

結果よりも過程を評価してあげる

- 結果ばかりを評価すると、満点でないと駄目だと感じてしまい、プレッシャーが強くなってしまいます。できている時は、「いつもより早く机に向かっていて凄いね。」や「左手で、ノートを抑えているから、字がずれないね。」等、具体的に過程を評価することが次への意欲につながる場合があります。

本校には5名の巡回指導教員がおります。「特別支援教室」について、ご質問がございましたらご連絡ください。

また、本校のホームページに「特別支援教室だより」のバックナンバーも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQRコードはこちら 

